

【小項目評価基準】  
 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。  
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。  
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。

令和4年度業務実績報告書における各小項目の自己評価結果一覧

大項目	小項目	ウエイト	自己評価結果		令和4年度業務実績等報告書における自己評価の内容（※評価3については記載省略）	
			4年度	(参考) 3年度※		
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	4	4	○ 循環器集中治療科及びこどもアレルギーセンターの新設、アレルギー看護外来の本格稼働など、診療機能の強化・充実に取り組んだ。目標値については、コロナ感染拡大に伴う手術中止・延期が増加したため、手術件数は目標値を下回ったが、それ以外のほとんどの指標で目標値を上回った。特に救急搬送件数については、重点医療機関としてコロナ第7波で急増した小児感染患者の救急搬送を積極的に受け入れたことにより、目標値を大きく上回るなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。  ○ 大規模災害発生を想定した初動訓練の実施やPPE(個人用防護具)等の必要在庫の確保、感染症拡大時の陰圧室の不足に備えた簡易陰圧装置の導入など、災害時に備え事業を継続するために必要な取組を確実に行った。 また、重点医療機関として、急増した小児の感染患者に対する休日診療を実施するとともに、重症度の高い救急搬送患者を積極的に受け入れるなど、コロナに係る小児救急医療を提供したことから、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。  ○ コロナ対応については、引き続き重点医療機関として福岡市における中核的な役割を果たすとともに、4月に設置した「感染対策情報発信センター」における情報発信や合同訓練を実施したほか、院内クラスターが発生した地域の医療機関に向いて、感染対策に係る助言指導を行った。また、目標値もすべて達成しており、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。
		市民病院	2	3	4	
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	3	4	
		市民病院	2	3	3	
	(3) 災害・感染症等への適切な対応	こども病院	2	4	4	
		市民病院	2	4	4(→5)	
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	3	3	
		市民病院	2	3	3	
	(2) 情報発信	こども病院	1	3	3	
		市民病院	1	3	4	
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修	こども病院	2	3	3	
		市民病院	2	3	3	
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	2	3	4	
		市民病院	2	3	4	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
1	自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	1	3	3		
2	事務部門の機能強化	1	3	3		
3	働きがいのある職場環境づくり	1	3	3		
4	法令遵守と公平性・透明性の確保	1	3	3		
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 持続可能な経営基盤の確立	(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化	こども病院	2	3	3	
		市民病院	2	3	3	
	(2) 投資財源の確保	1	3	3		
2 収支改善	(1) 収益確保	こども病院	2	3	3	
		市民病院	2	3	3	
	(2) 費用削減	こども病院	2	3	3	
		市民病院	2	3	3	
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置						
1	福岡市立こども病院における医療機能の充実	こども病院	2	4	4(→5)	○ 循環器集中治療科を新設し、重症集中治療系医療体制の充実を図るとともに、臨床研究や治験業務に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献した。 また、川崎病の症例数や先天性心疾患に係る手術症例数が成人を含むDPC病院の中で7年連続全国1位となるなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。
2	福岡市民病院における経営改善の推進	市民病院	2	3	3(→4)	

※法人の自己評価と異なる評価を市が行った場合、右の要領で記載。(例:3(→4) 法人自己評価「3」→市の評価「4」)